

市長タウンミーティング議事録

- 日時 令和5年5月21日(日) 14:30～16:00
- 場所 コミュニティセンター萱野東小会館「灯ろうの家」大会議室
- 参加者数 会場参加：9名
- 対応者 上島市長、地域創造部 担当副部長、健康福祉部 副部長、みどりまちづくり部 部長、子ども未来創造局 学校教育監、子ども未来創造局 副部長、市立病院 事務局長
- 事務局 市民サービス政策室 5名

【質疑応答概要】

● タウンミーティングについて

- ・ 市長からとても丁寧な説明がありとても良かったが、参加者が少ないのはもったいない。タウンミーティングのPRをもっとしてはどうか。

(市からの回答)

- ・ タウンミーティングの開催については、広報紙やホームページ、SNSなど様々な手法で告知はしている。みなさまもぜひ口コミで広めていただくとともに、いい手法などあればぜひともご意見ください。

● 子育て日本一に向けた施策について

- ・ 萱野東小校区は縦に長く、特に船場地区からは利便性が良くないという意見をよく聞く。

(市からの回答)

- ・ 市立病院移転後の跡地に学校を作る予定。校区割りが変わると、現行の課題も解消されるのでは。

● コミュニティセンターについて

- ・ コミセンの委員長をしている。委員が年配者ばかりになっているが、新たに委員になってくれる人も現状いない状態である。

(市からの回答)

- ・ 彩都校区では、若い人が中心となって、「オンラインビンゴ大会」を昨年開催した。感染防止しつつ行事を行う取組の一環であったが、このような新しい考えも出てきている。若い人だけでチームを作り、自由にやってもらうのもいいかもしれない。

● 萱野東小校区PTAについて

- ・ 役員のなり手がいないのは、PTAも同じ。萱野東小のPTAでは、従事者不足のため今年度から委員の数を大幅に削減することになった。このような話は市長のお耳に入っていますか。

(市からの回答)

- ・ 萱野東小 PTA の件は認識していなかったが、もともと PTA 活動のスリム化は長年の課題である。地域活動と繋がるという意味でも、PTA の役割はかなり大きいので、引き続き学校と連携して取り組んでいく。

● 衣料品店の減少について

- ・ 以前はキューズモール（旧カルフル）で高齢者向けの衣料品が買えたが、現在は、若者向けの衣料品や食料品のみとなってしまった。高齢者向けの衣料品（肌着等）が売っている場所を作ってほしい。

(市からの回答)

- ・ 箕面萱野駅は、今後、ターミナル駅として、賑やかな街へと発展していく。そのため、キューズモールにもより多くの人が集まるようになると考えている。その際に、色々な店舗の出店が検討され、その中に高齢者向けの衣料品を販売する店舗も検討されると考えている。市からも、いただいた要望は東急に伝えていきたいと思っている。
- ・ 高齢者向け衣料品は市内のライフ等でも充実しているので、参考とされたい。